



飢肥中だより

発行日 R2.2.10
発行元 日南市立
飢肥中学校

1年で最も寒い時期となりました。ただ、2月3日には立春を過ぎ、梅の花も開花して少しずつ春に向かって季節は進んでいます。インフルエンザなどの感染症にも留意し、健康に過ごしていきましょう。



登校指導

1月6日(月)～8日(水)までPTA生徒指導部の協力を得て登校指導が行われました。朝早くからご協力ありがとうございました。生徒の皆さん、登下校時は大きな声で挨拶を行うとともに交通に関するルールを守り、普段から安全な登下校を心がけてください。

避難訓練

1月14日(火)に避難訓練が行われました。雨天のため、体育館に避難という形で行われましたが、真摯な態度で訓練ができました。終了後は、放送により学校長から講評が行われ、普段の生活での備えや心構えなどについて話がありました。

集団で避難する際の、次の心構えを再度しっかり確認しておきましょう。

※ 集団避難時の原則お・か・し・も (押すな 駆け出すな 静かに 戻らない)

飢肥地区子どもたちの声を聞き励ます会、日南市新春子どもたちの声を聴く会

1月19日(日)小村記念館にて飢肥地区青少年育成協議会主催による標記の会が開催されました。本校吹奏楽部によるオープニングの演奏が行われた後、意見発表がありました。飢肥中からは下記の4名が出演(紙上発表を含む)し、自分の思いをしっかりと述べていました。

「『のび太』という生き方」に学んだこと 安藤 礼佳
「地球クライシスー大量絶滅の時代ー」 楠原 瑞歩
「決してじゃまなものではありません」 森 亜美佳
「新聞記事を読んで考えたこと」 日高 絢音



発表の後には、飢肥小学校の児童による泰平踊りの披露がありました。吹奏楽部、発表者の皆さんお疲れ様でした。保護者・地域の皆様におかれましては、多数のご出席ありがとうございました。

また、1月23日(木)には、日南市新春子どもたちの声を聴く会が行われ、桑原幸輝君が出演し、「僕の生き方」という題で堂々と発表しました。



メディアとのつき合い方

Society5.0という言葉聞いたことがありますか?現在の情報社会(Society 4.0)から更に進んで先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、誰もが快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる人間中心の社会のことを言うそうです。

情報技術は、日々進歩していて、私たちの生活は便利になってきていますが、どんな技術にも光と影の部分があります。情報技術の光の部分として、「いつでもどこにいても欲しい情報が手に入る」、「誰でも自分の意見や考えを自由に発信できる」などがあるでしょう。影の部分として、「依存」の問題、「ネットによるいじめ」、「自分の都合のよい情報ばかりを収集して偏った考えになってしまう」などが挙げられます。便利な情報機器(スマホ・タブレット等)も使い方を誤ると人を傷つけたり、犯罪に巻き込まれてしまうことにもなりかねません。一人一人が、メディアとのつき合い方をしっかりと考えていきましょう。

3月の主な行事予定(予定ですので、変更の可能性あります。)

6 (金) 送別行事 …要井当
13 (金) 卒業式予行練習
16 (月) 卒業式 …給食無

26 (木) 修了式…給食無
27 (金) 春季休業～4/5まで



